

ご挨拶

- ①出身地 ②研究内容
③趣味 ④好きな言葉



広島大学よりワールドクラスのプロジェクトを

藤本 淳也

大学病院 広島臨床研究開発支援センター 教授
*協力講座名「トランスレーショナル分子病理」

- ①広島県 ②分子病理学的視点から見たトランスレーショナルリサーチ（チームサイエンス） ③テニス ④Do the Right Thing

昨年（令和5年）9月1日付にて広島大学病院 教授として赴任しました、藤本 淳也（ふじもと じゅんや）です。また、令和6年4月1日より大学院医系科学研究科の協力講座として「トランスレーショナル分子病理」を開講いたしました。この場をお借りしてご挨拶を申し上げます。私は平成8年に広島大学を卒業し、病理学第一講座（現 分子病理学）に入局、博士課程を修了しました。その後、国立呉医療センターを経て、米国テキサス大学MDアンダーソンがんセンターに約20年勤務しました。大学在籍時は消化管分子病理、米国では胸部臓器（主として肺がん）の分子病理的観点からのモレキュラーサイエンスを行ってきました。一人の研究者で完結するクラシックな研究から、施設全般で行うチームサイエンス、国を挙げて行うナショナルスタディを米国で経験し、その手法を基礎として広島大学よりワールドクラスのプロジェクトを打ち出せていけたらと考えています。よろしくお願ひ申し上げます。



就任のご挨拶

花本 博

大学院医系科学研究科 歯学分野 歯科麻酔学 教授

- ①広島県 ②歯科麻酔学全般の臨床研究 ③テニス ④誠心誠意

令和6年1月1日付で、大学院医系科学研究科 歯科麻酔学の教授を拝命いたしました、花本 博と申します。この場をお借りしてご挨拶を申し上げます。

私は広島市出身で、平成12年に広島大学 歯学部を卒業した後、大阪大学 大学院歯学研究科 歯科麻酔学講座に進みました。自律神経に関する基礎研究を実施していましたが、近年は主に歯科麻酔学全般に関わる臨床研究を推進して参りました。その後も大阪大学の関連で臨床・研究・教育に従事させていただき、この度、約24年ぶりに広島に戻って参りました。

今後は広島大学での口腔外科手術全般の麻酔・鎮静管理、および口腔顔面痛診療に関する臨床・研究・教育を充実させ、さらに地域医療への貢献にも取り組みたいと思っております。皆様からのご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。